



スポーツ振興基金助成事業
株式会社日本スポーツ振興センター

NHK 杯 第 56 回全日本選抜ボウリング選手権大会 (開催要項)案

《スポーツ振興基金助成事業》

- 主催 公益財団法人全日本ボウリング協会
- 後援 NHK (日本放送協会) 株式会社NHK グローバルメディアサービス
公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人埼玉県スポーツ協会 狭山市 狭山市教育委員会
狭山市スポーツ協会 埼玉県ボウリング公認競技場協議会
- 特別協賛 ファイテン株式会社
- 協力 日本ボウリング機構 (JBO) 公益社団法人日本ボウリング場協会
新狭山グランドボウル
- 主管運営 埼玉県ボウリング連盟
- 開催月日 2023年5月19日(金)～21日(日)
- 開催会場 新狭山グランドボウル (公競No.111-030)
〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山 1-1-9
TEL 04-2952-2111 FAX 04-2952-2113
- 競技種目 男子・女子別 個人戦
- 競技方式 デュアルレーン方式 (アメリカ方式) で実施する。
- 競技方法 予選 男・女とも9ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点により、男子42名、女子30名を準々決勝出場者とする。
※参加人数により、準々決勝進出人数を変更する場合がある。
- 準々決勝 男・女とも6ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、予選9ゲームとの合計15ゲームの総得点により、男・女とも上位12名を準決勝出場者とする。
- 準決勝 男・女とも6ゲームの競技を行い (1ゲーム毎にレーン移動)、予選、準々決勝15ゲームとの合計21ゲームの総得点により、男・女とも上位4名を決勝 (エリミネーター方式) 出場者とする。
- 決勝 男・女とも上位4名がエリミネーター方式により選手権者を決定する。
※ エリミネーター方式は、1位から4位までの選手が1ゲームマッチを行い、得点上位2名が選手権者決定戦に進出する。選手権者決定戦は1ゲームマッチを行い、その勝者を選手権者とする。
※ 決勝におけるレーン及び投球順の選択については、準決勝上位の選手が優先的選択権を有する。

競技規程	選手権競技会規程並びにボウリング競技規則を適用する。
同位の裁定	予選、準々決勝、準決勝において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。 決勝における同位の裁定について、エリミネーター方式の1ゲームマッチで2位と3位に同点が出た場合は9・10フレームの決定戦により決定する。3位と4位に同点が出た場合は準決勝上位の選手を3位とする。選手権者決定戦の1ゲームマッチにおいて同点の場合は、9・10フレームの決定戦により決定する。
参加資格	別紙、参加資格者に限る。 なお、個人普通会員で参加資格を有した者は、当該年度に個人正会員へ登録変更をすることにより参加資格が与えられる。
施設使用料	1名 12,500円（ジュニア・学生連合会員は1名11,500円）
特別招待選手	第56回大会は、下記の選手を特別招待選手とし、施設使用料は主催者が負担する。 第55回大会優勝者 男子 藤永北斗（熊本県） 女子 伊勢川華愛（和歌山県）
表彰	男・女とも 優勝～第6位 ※ 男・女優勝者に、NHK杯（持ち回り）並びに賞状を授与する。 ※ 男・女優勝～第3位までJBCメダル、賞状を授与する。 （男・女優勝者には、選手権者認定証を授与する） ※ 男・女第4位～第6位まで賞状を授与する。 ※ 男・女優勝者の所属している連盟に賞状とペナントを授与する。 準決勝出場賞 準決勝出場者全員に授与する。 ハイゲーム賞、ハイシリーズ賞（男・女別 予選9ゲームを対象） 参加賞 参加者全員に贈る。
特典	本大会の優勝者は、次回大会への特別招待選手とする。
申込締切	2023年4月14日（金） とする。
参加申込	所定の申込書に必要事項を記入し、各加盟団体が取りまとめ、下記申込先へ施設使用料を添えて郵送にて申し込むこと。また、入力した申込書と送金明細書データをExcelデータのままた下記メールアドレスへ必ず送信すること。 (2022年度で参加資格を取り、2023年度に所属団体が変わった場合は、2023年度から所属する加盟団体から申し込むこと。)
申込先	公益財団法人全日本ボウリング協会（担当：競技部 田中） 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 5F TEL：03-6804-5605 FAX：03-6804-5606 Mail：tanaka-y@jbc-bowling.or.jp
送金先	別紙送金明細書参照のこと。送金締切日は2023年4月18日（火）厳守のこと。

- 注意事項
- 1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等により大会を中止した場合、旅費、宿泊費の補償はしない。
 - 2) 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証（原本または写し）を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
 - 3) 本大会は、すべてスクラッチで競技を行う。
 - 4) 本大会には、各都道府県連盟旗、学生連合旗は不要。
 - 5) 公認ゲーム消化証明は、各連盟・学生連合の責任において確認すること。
 - 6) 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から1個につき500円の登録料を納めるものとし、5個目からは特別保管料として1個につき1,000円を追加徴収する。また、ボールの追加登録は原則として認めない。
 - 7) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
 - 8) 原則、ボールの当日検査は行わない。事前に検査を受けボール検査合格証を持参すること。
 - 9) 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
 - 10) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
 - 11) JBC の定める「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」に基づいて実施する。参加にあたり、選手は大会当日、新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出し、予防策ガイドラインを遵守すること。遵守しない場合、大会の参加を認めないので注意すること。
 - 12) 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報（氏名・年齢・性別・記録・肖像等）は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用权は主催者に属する。
 - 13) 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報（肖像を含む）およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。なお本大会ではTV放映等の事情により、主催者が会場内での撮影行為を禁止する場合がある。

☆ドーピング検査について

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯す

ること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。